

## エスペラント学力検定試験実施要領（3級／4級）

（外部委嘱実施の場合）

### 1. 実施の合意まで

- (1) 主催者は試験実施予定日の1か月より以前に、日程、受験希望者名ないし受験者の受入可能人数と受験級を研究教育部へメール、電話、ファックス等で申し込む。
- (2) JEI 研究教育部は主催者と協議して実施を決定し、主催者に試験実施を委託する。

### 2. 事前準備

- (1) 学力検定試験実施の公示を実施予定日の1か月前までに行う。公示は原則として JEI の会誌、行事案内チラシ、ウェブサイト等にて行うものとする。ただし、地方会等が主催する場合は、上記に代えて、その公示範囲を一地方または一定地域、もしくは特定の範囲に限定して、有効な手段により公示することができる。
- (2) 受験料（3級 2,000 円、4級 1,000 円）は、受験者本人が試験実施予定日の2週間前までに JEI に振り込む。受験者全員分を主催者がまとめて振り込むことも可能である。なお一旦受領した受験料は返還しない。
- (3) 会場の手配をする。主催するエスペラント会の例会を利用しての試験実施も可能。筆記試験用の部屋と、会話試験用の小部屋を用意する。一部屋しか用意できない場合は、筆記試験が終了後、同じ部屋で会話試験を行う。その際、当該受験者以外は部屋の外で待ってもらおう。
- (4) 試験官として1名が必要だが、できれば試験当日の助手をさらに1名手配する。試験官が会話試験をしている間、筆記試験の会場の監督や、会話試験がスムーズにいくように監督する役目をお願いする。
- (5) 会話試験を録音する IC レコーダ等の機器類を準備する。
- (6) 試験問題と受験票が到着しているかどうか確認する。試験日の2日前までには到着するように JEI から発送するが、万一未着の場合は、電子データで問題の提供を受け、コピーする。なお、試験終了後は、電子データを消去すること。

### 3. 試験当日

- (1) 受験者に受験票に必要事項を記入してもらう。
- (2) 遅刻入場は15分まで認めるが、終了時刻は他の人と同じとする。
- (3) 試験開始15分を過ぎたら、筆記試験を終えた受験者は退場することができ、会話試験にうつる。ただし、筆記/会話の時間帯を分けている場合は適宜指示をする。
- (4) 筆記試験の制限時間は、3級、4級とも60分。会話試験は一人当たり3～5分。
- (5) 会話試験の開始から終了まで IC レコーダに録音・保存する。録音をもとに合否を判断するため、受験者の受験番号の確認を忘れずに行うこと。

### 4. 試験終了後

- (1) 各人の筆記試験解答用紙と受験票を JEI に郵送する。会話試験問題用紙（試験官用と受験者用）もあわせて JEI に郵送する。なお、郵送にかかった実費（切手代・封筒代等）は JEI 事務局宛てに請求する。
- (2) 会話試験の録音データを、研究教育部長へ電子メールに添付して送付する。

メール添付ができない場合は、別途方法を相談する。

- (3) 合格通知は、試験後約 1 か月で受験者本人に送付する予定。合格証はその後送付し、合格者名は **La Revuo Orienta** 誌上で発表する。

#### 5. 問題の取り扱いについて

- (1) 細心の注意で取り扱い、事前に受験者に問題が漏れることがないようにする。
- (2) 試験問題（筆記・会話共に）は非公開なので、試験終了後を含めて期間中は第 3 者に内容が伝わることをないように注意する。
- (3) たとえ事後であっても問題の解説をしたりしないこと。

(2018 年 1 月 31 日更新)